## サステナビリティ説明会

# 企業理念「未来創発」と サステナビリティ経営

株式会社 野村総合研究所 代表取締役会長 兼 社長

此本 臣吾

2024年2月21日







NRIグループの企業理念とマテリアリティ

知的資本の創出・蓄積に向けた取組み

# 私たちの存在意義は、持続可能な未来社会をつくることです

## NRIグループの企業理念

使命

## 社会に対して:

新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う

### お客様に対して:

お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える

創発する社会

夢と可能性に満ち、豊かさを実感する、活力ある社会 人々の英知がつながり、環境にやさしい**持続可能**な社会 強くてしなやかな、安全で安心に満ちた社会

コーポレート・ ステートメント Dream up the future.

未来創発

## |未来社会づくりとNRIグループの成長を一体的に追求します

マテリアリティ:「持続可能な未来社会づくり」と「NRIグループの成長戦略実現」のために2030年に向けて重点的に取り組むテーマ





デジタル社会資本の充実を通じた 活力ある未来社会の共創



社会資源の有効活用を通じた 最適社会の共創



社会インフラの高度化を通じた 安全安心社会の共創

価値を生み出す 資本



多様なプロフェッショナルの挑戦・成長による

人的資本の拡充



個々の知を組織力に昇華させる

知的資本の創出・蓄積



経営基盤 (ESG)

ビジネスパートナーとの協働による 地球環境への貢献



ステークホルダーとの関係強化による 社会的責任の遂行



戦略的なリスクコントロールを実現する ガバナンスの高度化

## マテリアリティをPDCAで管理、四半期ごとに取締役会へ報告

長期ビジョン策定

中期経営計画策定 (3~4年に1回)

事業計画策定 (年1回)

取締役会でモニタリング (四半期ごと)

V2030にて、持続可能な未来社会づ くりとNRIの成長戦略が一体であるこ とを標榜し、マテリアリティを組込み



全社:財務のみならず、マテリアリティごとに 重要KPIと目標値を策定

セグメント・本部:戦略目標・施策・KPIを マテリアリティと紐づけて設定する形で、 各事業の成長戦略に組込み

バランススコアカード(BSC)の管理手法を導入し、業績などの財務のみならず マテリアリティなどの非財務についても定性・定量(KPI)の両面でモニタリング

PDCAサイクル

マテリアリティ		指標・取組み状況	
創出する 価値	活力ある未来 社会の共創	KPI) 業界・社会変革を実現するDX2.0/3.0総投資額・施策額	
	最適社会の 共創	KPI) 最適社会に貢献するビジネスプラットフォーム売上高	
	<ul><li></li></ul>	KPI) 強くてしなやかな社会を支える安全安心関連売上高	
		KPI) 価値共創共感度	
価値を	→ 人的資本の 拡充	KPI) 従業員エンゲージメントスコア、女性への機会付与率	
生み出す	知的資本の 創出・蓄積	KPI) 知的資本創出・蓄積のための投資額	
	地球環境へ の貢献	KPI) 温室効果ガス排出量削減率、再生可能エネルギー利用率	
経営基盤	社会的責任 の遂行	KPI)「NRIグループビジネスパートナー行動規範」への同意または同等規範の保有率	
(ESG)	がバナンスの 高度化	KPI) 重大なリスクの発現件数	
		KPI) 外部評価指標 DJSI World	

# マテリアリティ指標と取組みの状況 (2023年4月~12月)

※数値は4月~12月累計

マテリアリティ		指標・取組み状況	
創出する価値	デジタル社会資本の充実を通じた 活力ある未来社会の共創	NRI提言の「年収の壁」が政府施策で本格化。ソーシャルDXが自治体、教育分野へ拡大 KPI) 業界・社会変革を実現するDX2.0/3.0総投資額 110億円	
	社会資源の有効活用を通じた 最適社会の共創	新NISA対応を完遂、「貯蓄から投資へ」「資産運用立国」の実現に貢献 KPI) 最適社会に貢献するビジネスプラットフォーム売上高 1,015億円	
	社会インフラの高度化を通じた 安全安心社会の共創	マネロン防止に向け3行とAMLセンター設立。AIや経済安保対応のセキュアサービス開始 KPI) 強くてしなやかな社会を支える安全安心関連売上高 1,373億円	
		KPI) 価値共創共感度(国内グループ) 67%	
価値を 生み出す 資本	多様なプロフェッショナルの挑戦・成長による 人的資本の拡充	「働きがい共創」のアクションプランを各本部で策定。MVVダイアログが各組織で進展 KPI) 従業員エンゲージメントスコア(NRI籍) 71 女性への機会付与率(NRI単体) 14%	
	個々の知を組織力に昇華させる 知的資本の創出・蓄積	生成AI関連の発信活発化(未来創発フォーラム等)。生産革新の取組進展(AI活用PoC等) KPI) 知的資本創出・蓄積のための投資額 96億円	
経営基盤 (ESG)	ビジネスパートナーとの協働による 地球環境への貢献	追加性ある再工ネ調達を大阪第二DCで実現。Scope3目標に向けパートナー支援を強化 KPI) GHG排出量削減率(Scope1+2) 65% (速報値) 再エネ利用率73% (2023年3月時点)	
	ステークホルダーとの関係強化による 社会的責任の遂行	パートナーのESG状況を把握・改善。WBCSD*と関係強化(トップダイアログ、PJ参画等) KPI)「NRIグループビジネスパートナー行動規範」への同意または同等規範の保有率 79%	
	戦略的なリスクコントロールを実現する ガバナンスの高度化	情報開示が評価され「IR優良企業賞」受賞。MSCIで最高評価AAA獲得(3年連続) KPI) 重大なリスクの発現件数(規制当局への報告またはそれに準ずるNRIグループ責の事案) 5件	
		KPI) 外部評価指標 DJSI World 選定継続中 スコア86	

**\*\*WBCSD**: World Business Council for Sustainable Development

NRIグループの企業理念とマテリアリティ

知的資本の創出・蓄積に向けた取組み

# 生成AIの技術革新は、高性能化と実用化が同時に進みます

実用化

✓ これまで同様に、高精度かつ汎用化 (万能) を追求した 高性能化が進み、モデルはより大規模に

✓ 実用化に向けモデルは「コンパクト化」、「特化型」へ

コンパクト化) 同等の性能/精度でも、よりコンパクトに・・・ ※分散化 (エッジ化) も一つの手法として採用

特化型) 特定の業界や業務の精度を追求した特化型へ ※特化型モデル開発のためオープンソースの活用も

✓ 実運用の環境整備 (品質管理/監視、モデルアップデート等) も進む

# ビジネスへの適用は、ステップを踏んで発展を始めています

## STEP 1

業務効率化・ 企画業務での活用 (汎用ジェネレーター)

用途

コピー制作、議事録作成、 営業資料作成など

課題

ハルシネーション、 セキュリティ対策 など

## STEP 2

社内データを活用した 業務の高度化 (自社専用LLM)

コールセンター・ヘルプデスク、 業務高度化など

業務モデル企画力、 ファインチューニング能力、 セキュリティ対策 など

## STEP 3

ビジネスモデル変革 (新アーキテクチャ)

AIベースの 経営情報システムなど

経営トップのリーダーシップ、 アーキテクチャ設計力、 基幹システムの構築力 など

# 特定業務の高度化に資するAIツール開発を進めています

「AI CoE を設置し、さまざまなユースケースを全社で共有しています

Step1 Step2 Step3

#### 取組① 流通・小売業の店舗等実務の高度化



店舗/現場での情報過多による「デジタル 疲労」を、生成AIの的確な支援で解消

(研究開発中)



#### 予兆検知

SNS上にあふれる生活者の声をリアルタイムで収集、 トレンドを先取りした商品開発・品揃えに活用



#### オリジナル商品開発

過去の商品情報をもとに、新しいアイデアを創発、 POPや商品案内などを自動生成



#### 店舗アドバイザー

これまでの店舗経営データから、店舗状況・季節・ 時間等に合った棚割り・レイアウト・品揃え等を助言



#### 献立最適化アプリ

最寄店舗からの配達を利用する高齢者を対象に 展開し、在庫のある商品から組合せを推奨

#### 取組② 企業のAI活用時のデータ漏洩リスク極小化



個別企業の業務に合わせてカスタマイズ した「プライベートLLM<sup>※1</sup>」を提供<sup>※2</sup>

※1 LLM: 大規模言語モデル ※2 2024年春以降に提供開始予定

#### 生成AI活用時の企業の懸念:

外部サービス型LLM (OpenAI社のGPT-4など) に、どこまで 機密・機微情報を送信してよいか?



#### プライベートLLM:

NRIデータセンターのプライベートクラウドや企業のオンプレミス 環境で動作させ、機密・機微情報を安全に扱う。 企業が持つデータで、個別企業の業務に合わせてカスタマイズ

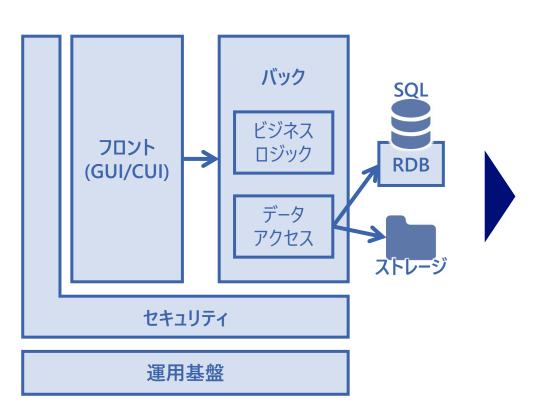
	外部サービス型LLM	プライベートLLM
性能	その時点の最高水準	外部サービス型LLMに劣る が徐々に接近
セキュリティ	パブリッククラウドと同等	高レベルのセキュリティ統制
カスタマイズ性	範囲が制限されている	自由にカスタマイズ可能

# システムのアーキテクチャーそのものが、AIベースに変わります

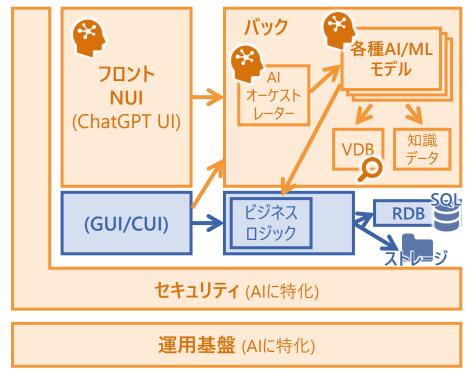
Step1 Step2 Step3

様々なAIモデルを活用し、セキュリティ等の周辺のソリューションを備え、AI活用をインテグレーションして いきます

## 従来型アーキテクチャー



## AIセントリック型アーキテクチャー



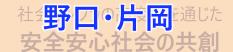
# 未来社会づくりとNRIグループの成長を一体的に追求します

マテリアリティ:「持続可能な未来社会づくり」と「NRIグループの成長戦略実現」のために2030年に向けて重点的に取り組むテーマ

創出する価値



NRIのDX3.0実現に向けた取り組み 活力ある未来社会の共創



価値を生み出す 資本

多様なプロフェッショナルの挑戦・成長による 人的資本の拡充

生成AI関連の取り組み (既述)

個々の知を組織力に昇華させる 知的資本の創出・蓄積此本

経営基盤 (ESG)



NRIグループのサステナビリティへの取り組み

地球環境への貢献 社会的責任の遂行

戦略的なリスクコン会原を実現する ガバナンスの高度化

# Envision the value, Empower the change